

平成25年度 秩父地域森林活用等創出支援事業

針葉樹樹皮を活用した果樹等の試験栽培

埼玉木材チップ協同組合



事業の目的・内容

ブルーベリー農家での針葉樹樹皮の利用を拡大するため、針葉樹バークチップを培地とした新たな栽培方法の実証試験と、他の果樹等でのマルチング利用の試験をおこない、針葉樹樹皮の利用拡大を目指すとともに、耕作放棄地の解消等による地域振興を図る。



今までの活動状況

試験地① ブルーベリー栽培における針葉樹樹皮の培地利用試験（経過観察）

（植栽面積：700 m²、植栽本数：60 本、針葉樹樹皮利用：210 m³）

針葉樹バークチップにより、乾燥防止効果が大きく、無灌水栽培を継続
樹木の生長とバランス良く果実を实らせるために剪定をおこなった。
生長は良好であり、数十粒の実が収穫できた。



試験地② ブルーベリー栽培における針葉樹樹皮のマルチング利用試験（経過観察）

（植栽面積：500 m²、植栽本数：40 本、針葉樹樹皮利用：100 m³）

針葉樹バークチップにより、乾燥防止効果が大きく、無灌水栽培を継続
樹木の生長とバランス良く果実を实らせるために剪定をおこなった。
生長は良好であり、数十粒の実が収穫できた。



試験地③ クリ栽培における樹皮のマルチング利用試験（経過観察）
（植栽面積：720 m²、植栽本数：30 本、樹皮利用：150 m³）
バークチップにより、乾燥防止効果が大きく、無灌水栽培を継続
イノシシに培地を荒らされる被害が起きたが生長は良好である。

これから活動・行事

マルチング効果により、大きな防草効果を発揮しているが、時間が経つにつれスギナ等の植物が発生してきているため、バークチップの補充をおこなう。



試験地①



試験地②



試験地③

今後も優劣等の経過観察をおこない、新たな木質資源の有効活用方法を提案していく。